

耐クローラ用アスファルト舗装

# 耐キヤタアスコン



# 豊富な経験と優れた技術力を生かした 耐キャタアスコン

耐キャタアスコンは、当社が昭和31年より耐クローラ用アスファルトコンクリートとして研究開発に着手し、豊富な経験と技術をいかして完成した特殊アスファルト混合物です。

このアスファルト混合物は、粒径の大きな粗骨材を多く使用したギャップ型の骨材配合で、結合材には高温時における変形を考慮して低針入度のアスファルトを使用しています。

したがって耐キャタアスコンは高安定度で、かつグースアスファルトの特性である緻密・不透水性を兼ね備えたアスファルト混合物といえます。



耐キャタアスコンの施工状況



耐キャタアスコンの仕上り表面



クローラ走行後の状態

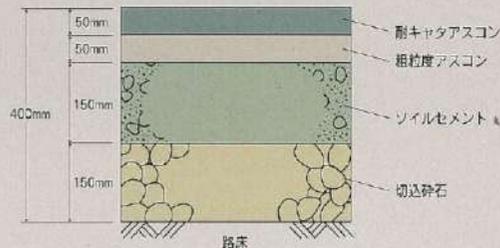
# 卓越した耐久性、しかも優れた経済性の耐キャタアスコン

## 耐キャタアスコンの特長

- 重機のクローラ、超重車両のソリッドタイヤの走行、旋回に対する抵抗力が大きい。
- アスファルトコンクリートであるのでセメントコンクリートのように脆く破損しない。
- クローラの走行時に発生する振動、騒音が小さい。
- 通常のアスファルトコンクリートよりも空隙が少ないので不透水である。
- プラントおよび施工機械等は特殊なものを必要とせず、比較的容易に施工できる。
- グースアスファルトに近い性状を有するが、比較的安価で経済的である。

### 構造断面例

耐キャタアスコンは、それ自体高い安定度をもっていますが、超重荷重を受ける場合には大きなせん断力が働くため、右図に示すように上層路盤には荷重分散効果の大きなセメント安定処理層を設けることを推奨します。



### 耐キャタアスコンの規格値

耐キャタアスコンの優れた性状は、右表に示す厳しい規格と当社の高度な品質管理によって保証されています。

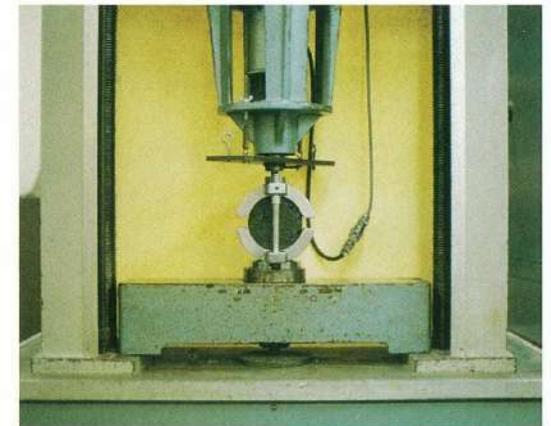
マーシャル試験		動的安定度	すり減り量
突固め回数	同面75回	1,000回/mm以上	1.0cm <sup>2</sup> 以下
空隙率	1 ~ 5 %		
安定度	12.7kN以上		
フロー値	80(1/100cm)以下		



ホイールトラッキング試験



ラベリング試験



マーシャル試験

## セメントコンクリート舗装との比較

従来の耐クローラ用舗装にはセメントコンクリート舗装が採用されてきました。

しかし、セメントコンクリート舗装は強度が高い反面多くの欠点をもっています。

セメントコンクリート舗装と耐キャタースコンを比較すると右表のようになります。

項目	耐キャタースコン	セメントコンクリート	細粒度アスコン(参考)
安定度	高い	高い	低い
振動・騒音	小さい	大きい	小さい
目地	不要	必要	不要
粉塵の発生	少ない	多い	少ない
補修の容易	易しい	難しい	易しい
養生期間	1日	7日	1日
費用	安価	高価	安価

## セメントコンクリート舗装の破損例



**破損例 1**  
強い目地部、継部より破損する



**破損例 2**  
クローラ走行によって多量の粉塵が生じる

## クローラの旋回による比較試験



**耐キャタースコン**  
表面モルタル分がわずかに削り取られているが良好



**セメントコンクリート舗装**  
多少表面が削られ値はつくが良好



**細粒度アスコン(参考)**  
骨材が吹き飛ばされている

# 耐クローラ用アスファルト混合物



重機プールに……



クローラの走行する一般道に……

で広いニーズに応えます。



資材置場に……



原木置場に……



橋面舗装に……



超重荷重を受ける構内道路に……